



2025年 4月25日
第181号

JR 東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第16号

「南武線における集約臨時列車」を担当する兼務社員に対し、 丁寧な教育の実施と安心して乗務できる環境を求める申し入れ 本日提出！

【何があったのか？】

南武線はダイヤ改正からワンマン運転を開始しています。フルタイムでのワンマン運転により、車掌担務者は全員異動…のはずでした。しかし、集約臨の運行が引き続き行われることとなり、異動直前に突如として集約臨に乗務できる一部の車掌担務者に対し、4月1日付で南武線オフィスとの兼務発令が打診され、4月1日以降に対象者がそれぞれの新しい職場で発令通知の手交を受けました。横地申第4号『「南武線ワンマン運転について」に関する説明申し入れ』団体交渉で、会社は集約臨の考え方について「車両改造やホームドア、集約臨の考え方も含めて全体を見て検討している」と回答し、明確に示しませんでした。

ところが、6月と11月に集約臨が運行されることとなり、南武線オフィスで集約臨に乗務できる社員が圧倒的に足りなくなったため、対象者6名に対して兼務発令が実施されました。しかも、南武線オフィスでは車掌を教育する管理者や指導員もワンマン運転開始に伴い異動し、車掌担務者に対する教育者が不在の状態です。さらに、今度の集約臨はホームドア設置後初の運行となり、駅側も含めて取り扱いが変わるため、集約臨が停車する駅の担当社員と、集約臨に乗務する車掌担務者への丁寧な教育と安心して業務が遂行できる環境を求めて申し入れを提出しました。

【横地申第16号 申し入れ項目】

- 横地申第4号交渉では、集約臨の考え方について会社側から「車両改造やホームドア、集約臨の考え方も含めて全体を見て検討している」と回答している。その後の議論においても、「車掌担務者は南武線オフィスからいなくなるという認識でよいのか」という我々の問いに、会社側は「基本的にはそのように考えている」と回答している。また、施策提案時においても会社側は「全時間帯のワンマン運転となる。時間帯によって車掌を乗務させる考えはない」と述べている。にもかかわらず、なぜこのような経緯になったのか。理由と根拠をきちんと示すこと。
- 南武線ワンマン運転に伴い、車掌指導担当と車掌指導副長および車掌教育副長もすでに転出しており、車掌担務者に対する教育者が不在である。このような状況で、今回兼務発令された車掌担務者に対し、誰がどのように教育・訓練を実施するのか。教育・訓練に対する考え方を示すこと。また、駅側の教育についてもどのように行うのか明らかにすること。
- 兼務先の南武線オフィスにおけるロッカーや乗務カバン等の貸与品、制服の増貸与の有無、南武線オフィスでの乗務における点呼方法、注意事項の抜粋、伝達内容の確認方法等を明らかにすること。
- 兼務の車掌担務者が不安を抱えることなく集約臨時列車に乗務できるよう、現地・現車を含めた事前の教育と訓練を行うこと。また、駅側の取り扱いも変わるため、集約臨時列車の運行に関係する駅の教育と訓練を行うこと。



集約臨の安全運行を実現するため 丁寧な教育・訓練の実施を求めます！

